

よりそう

Side by Side



おかえりなさい

思い出の写真



津波で家とともに流された思い出の写真や持ち物の数々を回収・修復し持ち主の元へ9月12日から箱崎仮設住宅にて行われていたこれらの写真・持得物の展示が29日に終了し、約四箇月続いたこの返還プロジェクトに一旦終止符が打たれることとなりました。

箱崎の現場でのガレキ撤去時に回収された膨大な持得物の数々は箱崎から遠野に運ばれ、たくさんのボランティアの手によって手作業で修復されました。泥落とし→デジタル撮影→洗浄→陰干し→スキャン→アルバムに分類・保存という気の遠くなるような細かい作業を経て展示に至ったこれらの写真と持得物、展示期間中になんと四分の一が持ち主の元へと無事戻ったとのこと。

持ち主の方の以前の住まいは箱崎地区のみならず白浜、鶴住居(うのずまい)地区など離れた地区にも及び、遠くの仮設住宅から足を運び熱心に写真を探す方たちの姿が連日見られました。多くの方は自分のものだけでなくご近所、知り合いの方々の写真まで探し出し、知っている限り名前、今の住まい、家族状況などの情報を教えて下さるだけでなく、「直接渡してあげるから」と預かって持っていくくださる方も。

最終日にもいただいた情報をもとにご家族が今いらっしゃると思われる仮設住宅やお住まいを訪ねに行ったところ、ご近所だった方、お知り合いだった方が不思議と次々現われてつながってゆき、その結果一日だけで4人の方のご家族、お知り合いにたどりつき、無事写真を手渡すことができました。中には写真を手にしたとたん涙ぐむ方も。「思わず自分も一緒に泣いてしまいました。このプロジェクトに携わってくださった方全員と、これ

までにいただいた全ての「ありがとう」の言葉を分かち合いたい」と写真班の佐藤憲雄隊長(67)。「膨大な写真を前に「自分は何をやってるんだろう」と思うこともありましたが、しかし写真が見つかった方からもう感謝の一言が、全ての苦勞を吹き飛ばし、次にまた自分のできることをさせていただきたい、と思える新たな力となりました」と語っていただきました。この日参加したボランティアの方々からも「残された写真一葉一葉から色々な方の人生が伝わってきました。無事受け取り手が見つかって嬉しい気持ちの一方、受け取る人がもういないと知る場面にも遭遇し、何とも言えない複雑な思いでした」「ご自分の写真が見つからなくても知っている人の分まで探し出し、持ち帰って渡そうとする方々の姿に心を打たれました」「ここで知った地縁、血縁の素晴らしさ、人の素晴らしさを自分の町でも伝え、広めていきたい」等の声、それぞれ人のつながりを実感した一日でした。

期間中に持ち主と出会えなかった分は今後釜石市民文化会館に移管され、自治体の管理の下、それぞれ無事引き取れる日を待つこととなります。一枚、一つでも多くの思い出の写真、品々がその思い出の持ち主の元へと戻ることを願いつつ、遠野への帰途へと着きました。

その途中、釜石市内でのこと、突然「あ、信号がついている!」と隊長の声。見ると今朝来たときにはなかった信号機が設置され、強く青い光を放っていました。一人一人のボランティアの力は決して大きくないかもしれませんが、続けていくことできついつか地域を照らす光の一つとなれる、新しい信号機がそう言ってくれているような気がしました。返還プロジェクトに携わってくださった皆様、本当にお疲れさまでした!

遠野
まごころ日記

遠野インド化計画?!

27.28日、和室にて沖繩からはるばるお越しの菊池恵美子先生によるヨガ教室が開催されました。インドでヨガの修行をされた菊池先生、最愛の旦那様とヨガで120才まで一緒に長生きするのが一番の目的だそう!可愛らしく元気いばいで体がおそろしく柔らかい先生からは「呼吸を長くする方法」「骨盤を正しい位置に戻す方法」「丹田を強くして負けない心をつくる方法」等々を教わりみんなスッキリ大満足! あっという間の90分でした。菊池先生、ありがとうございました。